

ゴール型ゲーム『タグラグビー』

1. 教材について

タグラグビーは、新指導要領に例示されているゴール型ゲームの1つである。ラグビーを簡略化したゲームであり、ラグビー特有の身体接触を避けるためにタグという道具を使用する。ゴール型ゲームでよく扱われるバスケットやサッカーとは違い、ドリブルをせずボールを持ったまま走って移動することができるため、他の種目と比べて個人の能力の差が生まれづらい。

どの子ども取り組みやすい教材であるため、個人の技術の追究ではなく、チームの作戦に着目して単元を進めていきやすい教材である。

2. 単元の目標

・簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻防をすることができる。

(技能)

・進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動したり場や用具の安全に気を配ったりしようとする。

(関心・意欲・態度)

・ルールを工夫したり自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりする。

(思考・判断)

3. 部の主張

研究主題「一歩踏み出せる子供の育成」

副主題「子供が自ら考え、自ら動く授業の創造」を目指して

◆まず、活動してみよう！ どの子ども取り組んでみたくなるルール、準備運動

タグラグビーでは、低学年の鬼遊びで学習した相手を交わす動きが必要である。遊び感覚で誰もがその動きを向上させていけるような準備運動を取り入れた。また、ルールを簡易化することで、初めてこの競技に取り組む児童の混乱を避けていきたい。

◆活動を通して、コミュニケーションを！ 作戦会議で、コミュニケーションを！

本単元では、最後に行うクラス対抗戦での「勝利」を目標に掲げていく。その目標達成のためには、各チームが作戦を練り、各々の動き方についてアドバイスをしていく必要がある。こういった活動の中で、自然と自分の思いを言葉で伝えたり体を使って伝えたりする場面が生まれると考える。

◆どんな学力

「伝え合う力」 言葉で伝えるのが難しければ体で伝える力を養う

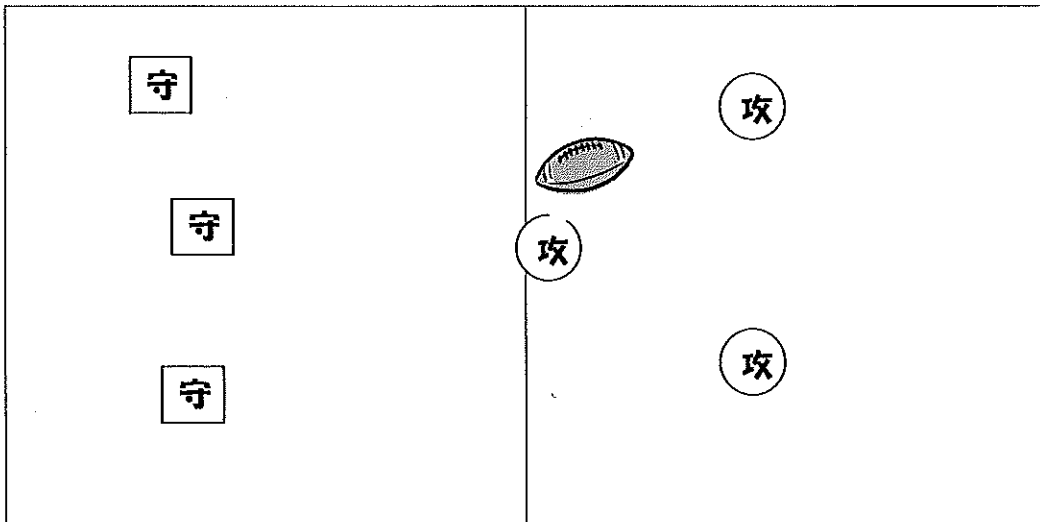
「ボールの操作やボールを受けるための動き」 ボールゲームの基本的な動き

「チーム力」 個人では解決できない課題をチームで解決する力

タグラグビーのルール

- ・1チーム6人で構成し、前半3名、後半3名の交代制とする。
- ・試合時間は、1試合前半3分後半3分。※その場に応じて時間設定は変えていく
- ・タグをとられずに、ボールをもってゴールラインを駆け抜けると、1点となる。
- ・スタートは、足に、タッチをして、仲間にパスをして始める。※仲間は、2歩の範囲まで近寄ってもらう。
- ・タグの回数に関係なく、トライするまで続ける。→後に、4回タグを取ったら攻守交代。
- ・タグをされたら、必ずその場で止まる。歩きすぎた場合は反則とし、攻守交代
- ・前にパスをしたら反則で、その場で攻守交代する。(スローフォワードという。)
- ・タグ後のボールはカットしてはならない。
- ・ボールをキャッチミスして前に落とすと反則。
- ・試合開始は、全て5m(7歩)守りの人は下がる。
- ・ボールが地面に転がった時は、どちらが拾ってもよい。
(とり合いになった場合は、攻めていた側のボール。)
- ・人にぶつかるのは禁止。
- ・タグをとりにくる人の手をはらったりじゃましたりすることも禁止。

ゴールライン(15mくらい)



タッチライン(25mくらい)

4. 学習指導計画（5時間扱い）

	児童の思考の流れおよび活動	教師のかかわり
1・2	<p style="text-align: center;">タグラグビーのルールを覚えよう！</p> <p>○基本的な動き(円陣パス、タグ取り鬼) ○お試しゲーム</p> <p>ボールを持って走れるのいいね！ なかなか前に進めないな。 タグを取るの難しいな。 たくさんトライをしたいな！ タグを取られるのがこわいな。</p> <p style="text-align: center;">タグラグビーのルールがわかったね！</p>	<p>・ボールやタグに慣れさせる。 ・ルール等不明な点を聞き、その都度解決していく。 ・次時への課題づくりのために、感想を聞き、集約しておく。</p>
3・4	<p>○基本的な動き(手つなぎタグ取り、パス練習)</p> <p style="text-align: center;">ボールを持った人の動きとそれを止める方法を考えよう！</p> <p>○ゲーム ○チーム作戦会議</p> <p>前に向かって走る事が大切だね！ タグを取られてもいいんだね！ 前に進むと、相手を引きつける事ができるね。</p> <p style="text-align: center;">ボールを持った人は、タグを取られるまで前に進むと良いんだね！ それを止めるには、隙間をつくらないようにすれば良いんだね</p>	<p>・ボールを持った人に着目させる。 ・タグを取られることは悪いことではないことを価値づけていく。(タグされる＝上手におどりになれている。) ・動けないでいる子には、教師が関わり、一緒に動いて動き方を指導していく。 ・守り方は、教える。</p>
5(本時)	<p style="text-align: center;">勝つための作戦を考えよう！</p> <p>○基本的な動き(手つなぎタグ取り、パス練習) ○ゲーム ○チーム作戦会議</p> <p>最初に、〇〇がボールをもらって走ると良いね！ ボールを持った人を追い込むには、2人でマークすると良いね。 ボールを持っていない人は、後についていくといいね ボールを持っていない人は、空いているところに動くといいね！</p> <p style="text-align: center;">役割を意識した作戦を立てると勝てそうだね！</p>	<p>・どんな事を決めておくと良いのか、明確な作戦を立てさせる。 ・自分の動きを客観的に見るのは難しいので、仲間に声をかけてアドバイスしてあげるようにする。</p>

作戦を生かしてきくちゃんカップをしよう!

○クラス対抗試合を行う。

6

協力して勝てると
嬉しいね。

応援されるとがん
ばれるね。

一生懸命やると、
負けると悔しいね

みんなで協力すると、たくさんトライできたね!

・各クラス、団結力を深めるために自分の仲間を応援させる。

・仲間のプレーを賞賛する場面を設ける。

5. 本時の目標

・役割を意識した作戦をチームの仲間と立てることができる。(思考、判断)

6. 本時の流れ

児童の思考の流れおよび活動	教師のかかわり
<p>○用具準備</p> <p>○準備運動</p> <p>○基本の運動(手つなぎタグ取り、パス練習)</p> <p>○前時の振り返り</p> <p>○本時の課題確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>勝つための作戦を考えよう!</p> </div> <p>○どんな事を決めておく必要があるか考えよう!(交流)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>たくさんトライ をしたい!</p> <p>最初にボールをパスする人</p> <p>ボールをもらう人</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ボールを持っていない人の動き方</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>たくさんタグをとりたい!</p> <p>ボールをもつた人につく人</p> <p>追い込む方法</p> </div> </div> <p>○チーム作戦会議① 交流を生かして、作戦を立てよう!</p> <p>○ゲーム① 作戦は、できているかな?</p> <p>○チーム作戦タイム② 作戦が生かせたかな?改善点はないかな?</p> <p>○ゲーム② 作戦を意識してゲームをしよう!</p> <p>○まとめ&ふりかえり作戦と決めたことをつなげて報告しあおう!</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>ボールを持っていない人は、ボールを持った人の後に付いていくことにしたよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>追い込むために、マークを決めたよ。</p> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">etc</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>役割分担をして、メンバーみんなで取り組むと勝てそうだね!</p> </div> <p>○整理運動</p>	<p>・服装の確認、健康チェック</p> <p>・安全確認</p> <p>・声を大きく出すように指導。</p> <p>・前時までの学習を確認。</p> <p>・本時の課題提示</p> <p>・チーム作戦会議で話し合った方が良いことを明確にする。</p> <p>・攻め・守りに分けて、「決めた方が良い役割」と「場面における動き方」をここで出させる。</p> <p>・チームを回り、交流を生かした作戦を立てるようにアドバイスをしていく。</p> <p>・見ている子に、作戦が実行されているか見てアドバイスするように働きかける。</p> <p>・ゲーム①において作戦がうまくいっているか見直しをさせる。</p> <p>・「どんな作戦か。」「どんな事を決めたのか。」を各グループ発表させる。</p>

7. 評価

- ・チームの作戦会議で、自分の思いを伝えたり仲間の意見を聞いたりしていたか。
- ・役割を意識して立てた作戦を、ゲームの中で生かそうとしていたか。